

鬼を追い払う夜

折口信夫

青空文庫

「福は内、鬼は外」と言うことを知って居ますか。此は節分の夜、豆を撒いて唱える語コトバなのです。此日、村や町々の家々へ、鬼が入り込もうとするものと信じて居ました。それに對して、豆を打ちつけて追うのだと言います。今年はそれがちょうど、二月四日に当るのです。これは家々ですることですが、又社や寺でも、特別に人を選んで、豆撒き役を勤めさせます。

又豆を年の数だけとって喰うこともあります。地方によっては、一つだけ余計に喰べる処もあります。これはもと一つはからだを撫でたものなのです。つまりからだについた災いを其にうつすつもりだったのです。門カドには前もって、柵の小枝を挿して置き、それに鰯の頭——昔は鰯ボラの子のいなボラの頭——をつき刺して出しておいたものです。

節分は冬が行き詰って、春が鼻の先まで来て居る夜ということなのです。だからこれらの事柄も、夜に行われる事が多いのです。

ちょうど、鬼打ち豆を撒いて居る頃、表の方を、「厄払いましょう厄払いましょう」と言いながら通る者があることも知っているでしょう。これは「厄払い」と言うものです。そうして、呼びかける家があると、その表口に立って、その一家が、今夜から将来サキ幸福に

なる唱え言を唱えて、お礼の錢を貰つては、又先へ出掛けます。

春になる前夜の、賑やかで、そうして何処かにしんと静まった様子を想像して御覽なさい。暦を見ると、立春と言う日が、載つてあります。今年は、其が二月五日になります。冬が過ぎて春の来るのを迎えるについて、出来るだけ我々の生活にとつてよくないものを却けて置いて、輝かしい幸福をとり入れようとするのです。昔から春と新しい年とが、同時に来るものと言う考えが、習慣の様に人々の頭にこびりついて居るので、立春が新しい春その前夜を意味する節分は、旧年の最後の夜という風に思われて居ました。だから、節分の事を「年越し」という地方も多いのです。年越しは、大晦日と同じ意味に用いる語です。

九鬼家クキケと言う古い豪族の家では、節分の夜、不思議な事を行われると言う噂がありました。ある時、松浦伯爵の祖先の静山と謂つた人が、九鬼和泉守隆国と言う人に、あなたのお家では、節分の夜には主人が暗闇の座敷に坐つてゐると、目に見えぬ鬼の客が出て来て、坐りこむ。小石を水に入れて吸い物として勤めると、其啜る音がすると言うではありませんかと問いますと、其は噂だけで、そんな事はありません。唯豆を打つ場合に、「鬼は内、福は内、富は内」と唱える。其上、普通にする柊と鰯とは、私の家ではしないと答えられ

たと言う事です。

此は言うまでもなく、家の名が九鬼である事から、それによって縁起を祝って、家の名に關係のあるものを逐^オい却ける様な事は一切しない事になったのでしよう。勿論、鬼は来るはずはありません。だが来た事もなかったとは言えません。来るのは勿論、鬼に仮装した人が出て来て、鬼となって逐われる様子をするのでした。

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆17 春」作品社

1984（昭和59）年3月25日第1刷発行

1997（平成9）年2月20日第20刷発行

底本の親本：「折口信夫全集 第三十巻」中央公論社

1968（昭和43）年4月初版発行

入力：門田裕志

校正：多羅尾伴内

2003年12月27日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

鬼を追い払う夜

折口信夫

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>